

# 「観光立国の実現に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 観光立国の実現に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 観光庁の認知度  
(2) 訪日外国人旅行者数に対する実感  
(3) 訪日外国人旅行者が増加することについて  
(4) 訪日外国人旅行者を増加させるために重要だと思う施策  
(5) 国内旅行に行きたいと思うようになるための条件
- 3 関係省庁 観光庁
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国20歳以上の日本国籍を有する者  
(2) 標本数 3,000人  
(3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- 5 調査時期 平成27年8月20日～8月30日
- 6 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 新情報センター
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,758人(58.6%)  
(2) 調査不能数(率) 1,242人(41.4%)  
－不能内訳－  

転居	108	長期不在	84	一時不在	475
住所不明	36	拒否	468	被災	0
その他	71				

(病気など)

## 9 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
				%					%
男    性	20～29歳	179	68	38.0	女    性	20～29歳	173	66	38.2
	30～39歳	207	102	49.3		30～39歳	215	117	54.4
	40～49歳	269	134	49.8		40～49歳	262	166	63.4
	50～59歳	239	139	58.2		50～59歳	240	165	68.8
	60～69歳	312	204	65.4		60～69歳	280	196	70.0
	70歳以上	293	193	65.9		70歳以上	331	208	62.8
計		1,499	840	56.0	計		1,501	918	61.2

10 本報告書で結果を引用した過去の世論調査は次のとおりである。

	(標本数)	(有効回収数)
「観光立国と観光庁に関する特別世論調査」		
平成 20 年 10 月調査	3,000 人	1,853 人
「観光立国に関する特別世論調査」		
平成 16 年 5 月調査	3,000 人	2,075 人

※ なお、平成 18 年度以降実施した調査から、調査実施主体が「内閣府」であることを提示した上で実施している。

# 調査結果の概要

## 1 観光庁の認知度

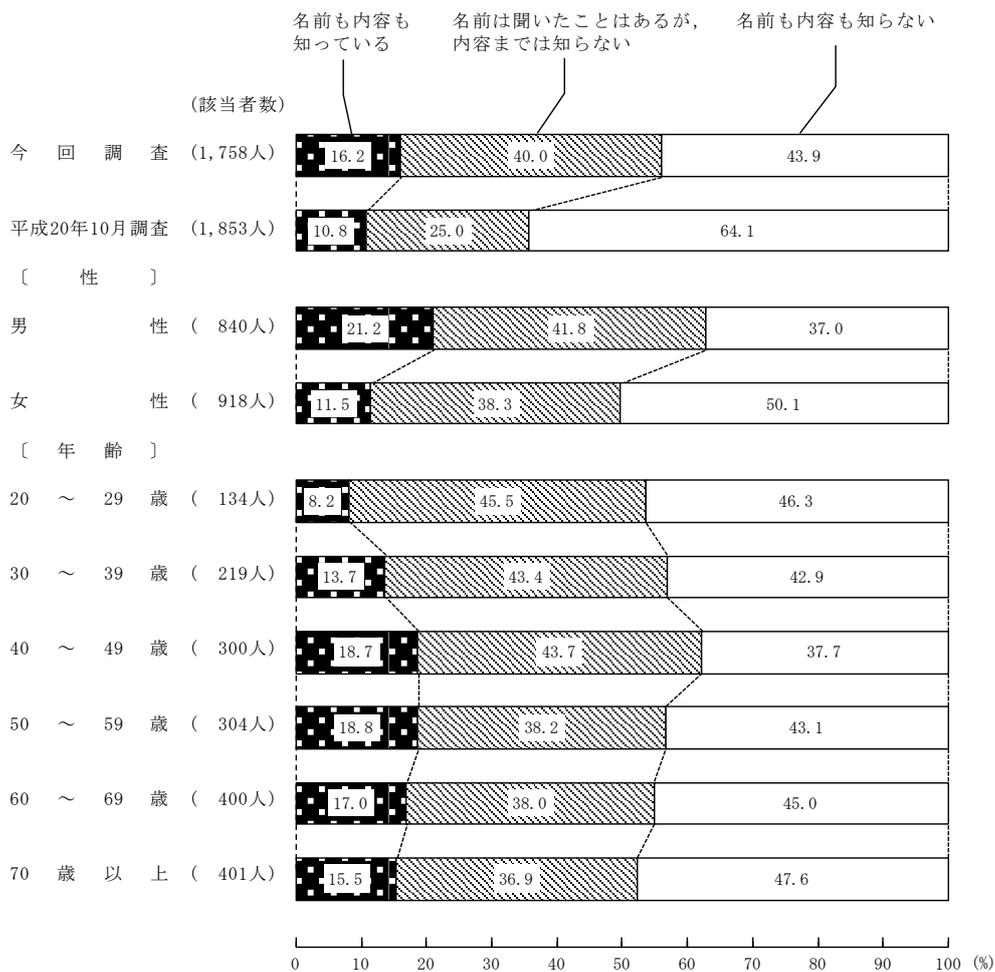
### (1) 観光庁の認知度

平成20年10月に発足した「観光庁」を知っているか聞いたところ、「名前も内容も知っている」と答えた者の割合が16.2%、「名前は聞いたことはあるが、内容までは知らない」と答えた者の割合が40.0%、「名前も内容も知らない」と答えた者の割合が43.9%となっている。

前回の調査結果（平成20年10月調査をいう、以下同じ）と比較して見ると、「名前も内容も知っている」（10.8%→16.2%）、「名前は聞いたことはあるが、内容までは知らない」（25.0%→40.0%）と答えた者の割合が上昇し、「名前も内容も知らない」（64.1%→43.9%）と答えた者の割合が低下している。

性別に見ると、「名前も内容も知っている」と答えた者の割合は男性で、「名前も内容も知らない」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。（図1、表1）

図1 観光庁の認知度



(注) 平成20年10月調査では、「10月1日に発足した「観光庁」をご存じですか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

表1 観光庁の認知度

	該 当 者 数	名 前 も 内 容 も 知 っ て い る	名 前 は 聞 い た こ と は あ る が、 内 容 ま で は 知 ら な い	名 前 も 内 容 も 知 ら な い
	人	%	%	%
総 〔都 市 規 数 模〕 大 東 京 都 区 市 政 令 指 定 都 市 中 小 町 都 市 村 〔 性 〕	1,758	16.2	40.0	43.9
男 性	840	21.2	41.8	37.0
女 性	918	11.5	38.3	50.1
〔年 齢〕				
20 ～ 29 歳	134	8.2	45.5	46.3
30 ～ 39 歳	219	13.7	43.4	42.9
40 ～ 49 歳	300	18.7	43.7	37.7
50 ～ 59 歳	304	18.8	38.2	43.1
60 ～ 69 歳	400	17.0	38.0	45.0
70 歳 以 上	401	15.5	36.9	47.6
〔従 業 上 の 地 位〕				
雇 用 者	857	15.5	43.9	40.6
自 営 業 主	166	22.3	34.3	43.4
家 族 従 業 者	49	16.3	34.7	49.0
無 職	686	15.5	36.9	47.7
主 婦	363	12.9	36.6	50.4
主 夫	43	25.6	32.6	41.9
そ の 他 の 無 職	280	17.1	37.9	45.0
〔職 業〕				
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	449	18.9	47.0	34.1
管 理 職	59	28.8	45.8	25.4
専 門 ・ 技 術 職	181	17.7	47.5	34.8
事 務 職	209	17.2	46.9	35.9
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	320	17.5	40.3	42.2
農 林 漁 業 職	51	17.6	33.3	49.0
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	252	11.1	36.9	52.0

## 2 訪日外国人旅行者数に対する実感

### (1) 訪日外国人旅行者数に対する実感

日本を訪れる外国人旅行者数について数年前と比べてどのような実感をもっているか聞いたところ、「増えた」とする者の割合が 93.4%（「増えた」72.4%+「どちらかといえば増えた」21.0%）、「減った」とする者の割合が 1.8%（「どちらかといえば減った」1.5%+「減った」0.3%）となっている。

前回の調査結果と比較して見ると、「増えた」（80.0%→93.4%）とする者の割合が上昇している。

都市規模別に見ると、「増えた」とする者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「増えた」とする者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「増えた」とする者の割合は50歳代で高くなっている。（図2、表2）

図2 訪日外国人旅行者数に対する実感

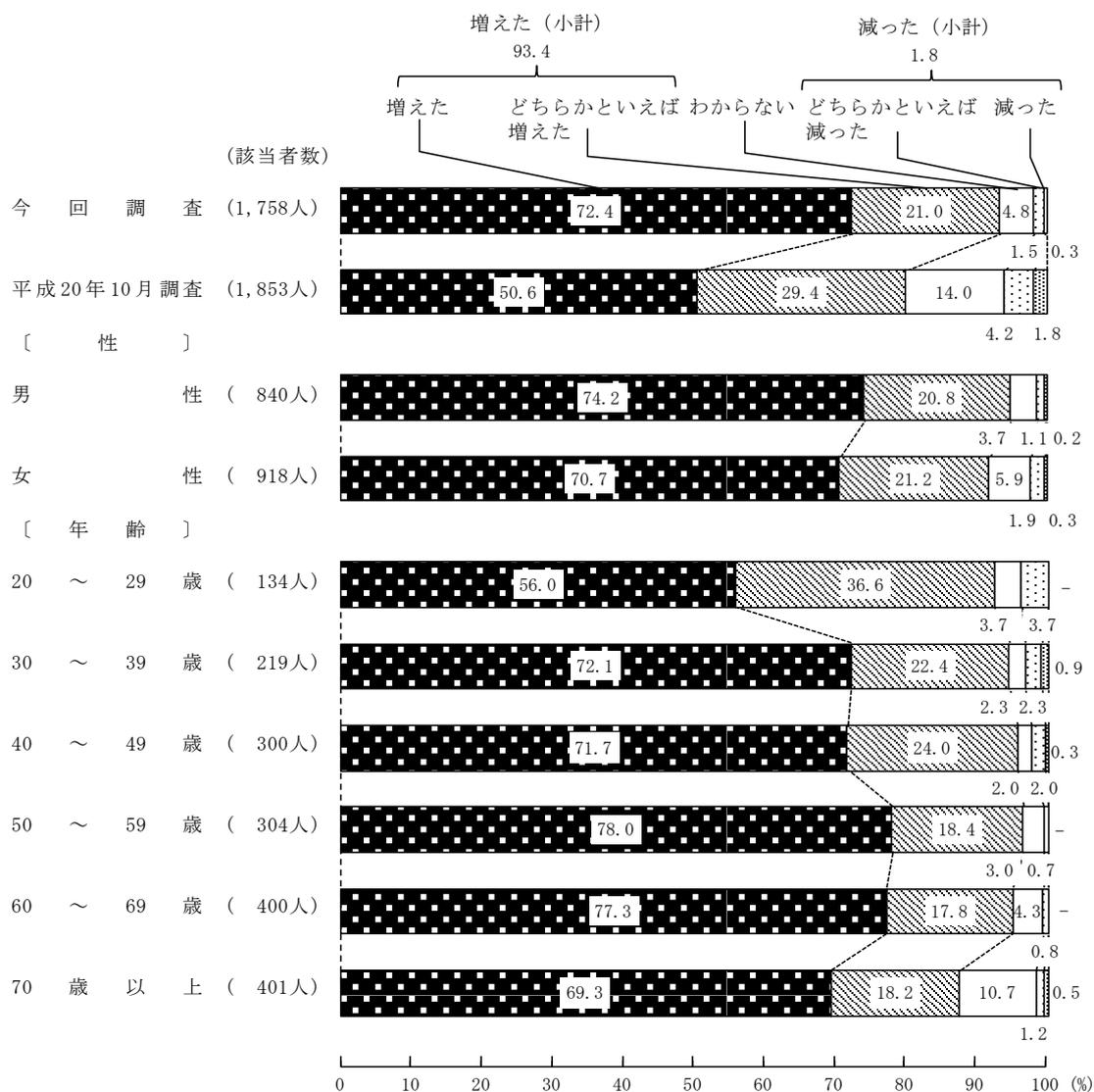


表2 訪日外国人旅行者数に対する実感

	該 当 者 数	増			減			わ か ら な い
		( 小 計 ) え た	増 え た	ど ち ら か と い え ば 増 え た	( 小 計 ) つ た	減 つ た	ど ち ら か と い え ば 減 つ た	
	人	%	%	%	%	%	%	%
〔総数〕	1,758	93.4	72.4	21.0	1.8	1.5	0.3	4.8
〔大都市圏〕	435	97.7	77.7	20.0	0.5	0.5	-	1.8
〔大東都〕	90	98.9	83.3	15.6	-	-	-	1.1
〔政令指定都市〕	345	97.4	76.2	21.2	0.6	0.6	-	2.0
〔中小都市〕	719	92.5	71.5	21.0	2.2	1.7	0.6	5.3
〔小都市〕	430	91.6	69.3	22.3	2.8	2.6	0.2	5.6
〔町〕	174	90.8	70.1	20.7	0.6	0.6	-	8.6
〔性別〕								
〔男性〕	840	95.0	74.2	20.8	1.3	1.1	0.2	3.7
〔女性〕	918	91.9	70.7	21.2	2.2	1.9	0.3	5.9
〔年齢〕								
〔20～29歳〕	134	92.5	56.0	36.6	3.7	3.7	-	3.7
〔30～39歳〕	219	94.5	72.1	22.4	3.2	2.3	0.9	2.3
〔40～49歳〕	300	95.7	71.7	24.0	2.3	2.0	0.3	2.0
〔50～59歳〕	304	96.4	78.0	18.4	0.7	0.7	-	3.0
〔60～69歳〕	400	95.0	77.3	17.8	0.8	0.8	-	4.3
〔70歳以上〕	401	87.5	69.3	18.2	1.7	1.2	0.5	10.7
〔従業上の地位〕								
〔雇用上の地位〕	857	95.0	73.4	21.6	2.1	1.8	0.4	2.9
〔自営業〕	166	95.8	74.7	21.1	0.6	0.6	-	3.6
〔家族従業〕	49	95.9	75.5	20.4	2.0	2.0	-	2.0
〔無職〕	686	90.7	70.3	20.4	1.6	1.3	0.3	7.7
〔主婦〕	363	90.9	70.2	20.7	1.4	1.1	0.3	7.7
〔その他無職〕	43	90.7	79.1	11.6	-	-	-	9.3
〔280名〕	280	90.4	68.9	21.4	2.1	1.8	0.4	7.5
〔職業〕								
〔管理・専門技術・事務職〕	449	96.7	76.6	20.0	1.8	1.3	0.4	1.6
〔管理職〕	59	94.9	86.4	8.5	3.4	1.7	1.7	1.7
〔専門・技術職〕	181	97.8	75.7	22.1	1.1	1.1	-	1.1
〔事務職〕	209	96.2	74.6	21.5	1.9	1.4	0.5	1.9
〔販売・サービス・保安職〕	320	96.6	71.9	24.7	1.3	1.3	-	2.2
〔農林漁業職〕	51	96.1	72.5	23.5	-	-	-	3.9
〔生産・輸送・建設・労務職〕	252	90.5	71.0	19.4	3.2	2.8	0.4	6.3

### 3 訪日外国人旅行者が増加することについて

#### (1) 訪日外国人旅行者の増加による影響

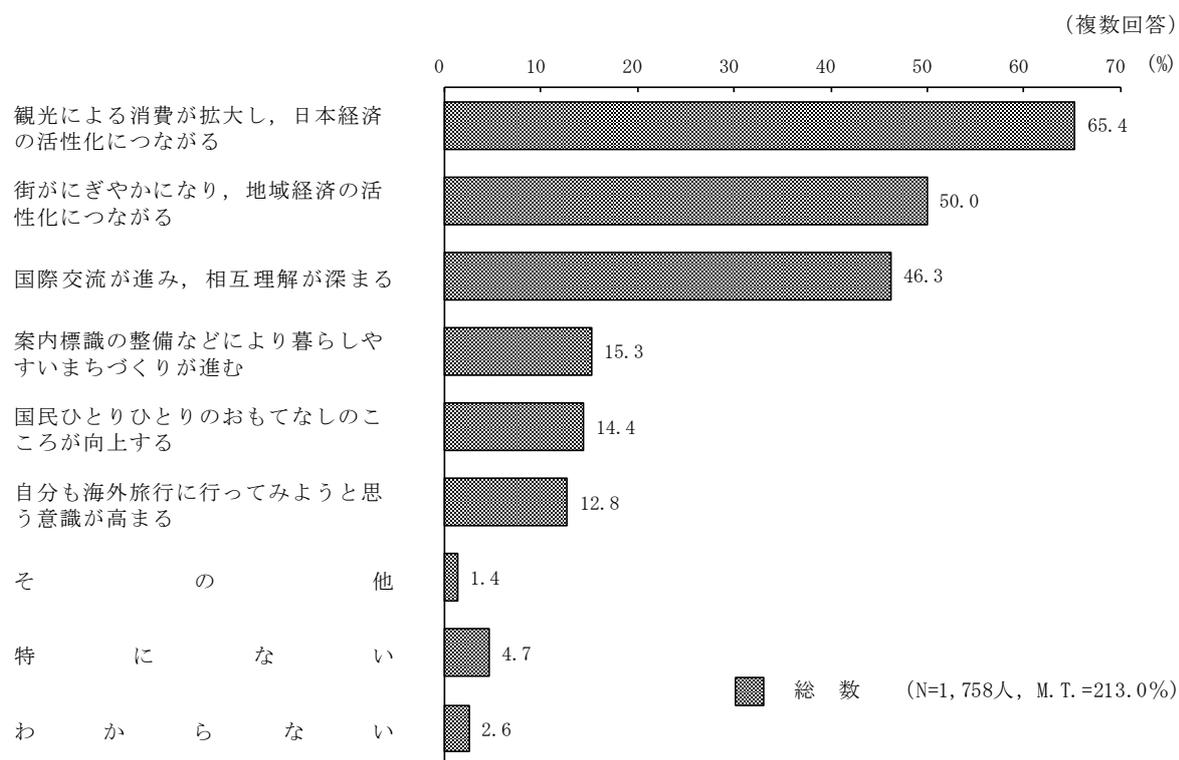
訪日外国人旅行者が増加することにより我が国にどのような影響を与えると思うか聞いたところ、「観光による消費が拡大し、日本経済の活性化につながる」を挙げた者の割合が 65.4% と最も高く、以下、「街がにぎやかになり、地域経済の活性化につながる」(50.0%)、「国際交流が進み、相互理解が深まる」(46.3%) などの順となっている。(複数回答、上位3項目)

都市規模別に見ると、「観光による消費が拡大し、日本経済の活性化につながる」、「街がにぎやかになり、地域経済の活性化につながる」、「国際交流が進み、相互理解が深まる」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「観光による消費が拡大し、日本経済の活性化につながる」を挙げた者の割合は 40 歳代で、「街がにぎやかになり、地域経済の活性化につながる」を挙げた者の割合は 20 歳代から 40 歳代で、「国際交流が進み、相互理解が深まる」を挙げた者の割合は 20 歳代で、それぞれ高くなっている。(図 3, 表 3)

図3 訪日外国人旅行者の増加による影響





[参考] 訪日外国人旅行者が増加することについて

(複数回答)

	該 当 者 数	対 策 が 必 要 で あ る	治 安 の 面 か ら 不 安 で あ り 、 何 ら か の	国 際 交 流 が 進 み 相 互 理 解 が 深 ま る	街 が に ぎ や か に な り 、 地 域 経 済 の 活 性 化 に つ な が る	地 域 社 会 の 中 で ト ラ ブ ル が 多 く な る	自 分 も 海 外 旅 行 に 行 っ て み よ う と 思 う 意 識 が 高 ま る	国 民 ひ と り ひ と り の お も て な し の こ ろ が 向 上 す る	案 内 標 識 の 整 備 な ど に よ り 暮 ら し や す い ま ち づ く り が 進 む	英 語 だ け で な く 外 国 語 の 標 記 が 増 え 、 標 識 が 見 に く く な る	宿 泊 施 設 の 雰 囲 気 ・ サ ー ビ ス 等 が 変 わ り 、 国 内 旅 行 が し に く く な る	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)	
平 成 20 年 10 月 調 査	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	1,853	51.8	50.7	40.8	27.3	16.0	14.7	13.2	9.8	6.9	0.7	5.7	237.7		

(注) 「訪日外国人旅行者が増加することについてどのようにお考えですか。この中からいくつでもお答えください。」と聞いている。

(2) 訪日外国人旅行者の増加により困っていること

2014年の訪日外国人旅行者数は約1341万人となり、2012年の約836万人から約500万人の増加となったが、訪日外国人旅行者の増加により、困っていることはあるか聞いたところ、「治安の面から不安を覚えるようになった」を挙げた者の割合が29.5%と最も高く、以下、「マナーや文化慣習の違いなどから、外国人旅行者とのトラブルが増えた」(25.5%)、「外国語を話せないので、話しかけられてもコミュニケーションがとれない」(20.0%)などの順となっている。なお、「特にない」と答えた者の割合が42.0%となっている。(複数回答、上位3項目)

年齢別に見ると、「マナーや文化慣習の違いなどから、外国人旅行者とのトラブルが増えた」を挙げた者の割合は30歳代、50歳代で、「外国語を話せないので、話しかけられてもコミュニケーションがとれない」を挙げた者の割合は20歳代、30歳代で、それぞれ高くなっている。

(図4、表4)

図4 訪日外国人旅行者の増加により困っていること

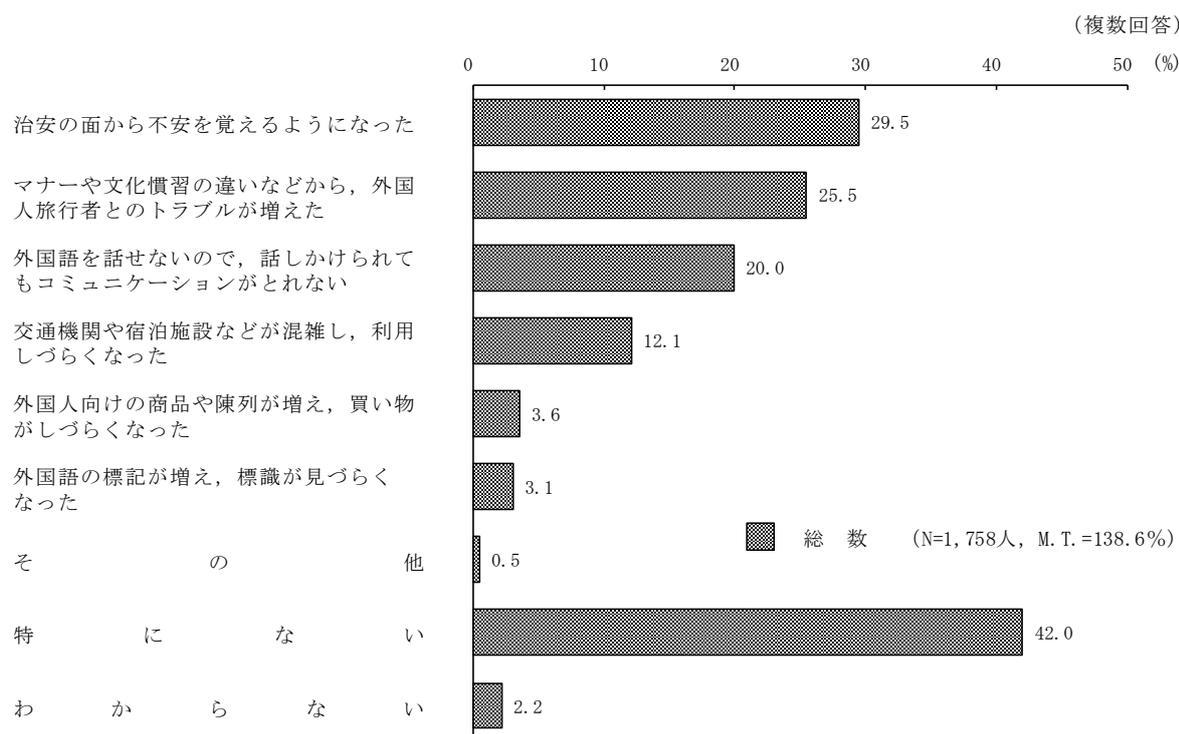


表4 訪日外国人旅行者の増加により困っていること

(複数回答)

	該 当 者 数	治 安 の 面 か ら 不 安 を 覚 え る よ う に な っ た	マ ナ ー や 文 化 慣 習 の 違 い な ど か ら 、 外 国 人 旅 行 者 と の ト ラ ブ ル が 増 え た	外 国 語 を 話 せ な い の で 、 話 し か け ら れ て も コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン が と れ な い	交 通 機 関 や 宿 泊 施 設 な ど が 混 雑 し 、 利 用 し づ ら く な っ た	外 国 人 向 け の 商 品 や 陳 列 が 増 え 、 買 い 物 が し づ ら く な っ た	外 国 語 の 標 記 が 増 え 、 標 識 が 見 づ ら く な っ た	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 ( M. T. )
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,758	29.5	25.5	20.0	12.1	3.6	3.1	0.5	42.0	2.2	138.6
[都市規模]											
大都市	435	29.4	28.3	17.5	15.9	4.8	3.2	0.9	41.4	1.1	142.5
政令指定都市	90	35.6	37.8	23.3	17.8	7.8	3.3	3.3	30.0	1.1	160.0
中核市	345	27.8	25.8	15.9	15.4	4.1	3.2	0.3	44.3	1.2	138.0
小都市	719	31.2	26.7	21.0	12.4	4.0	3.3	0.4	40.6	2.1	141.7
町村	430	30.0	24.2	21.9	10.5	2.6	3.0	0.5	42.6	1.4	136.5
性	174	21.8	17.2	17.2	5.7	1.1	1.7	-	48.3	7.5	120.7
[性別]											
男性	840	29.5	25.5	20.5	12.0	3.1	2.7	0.5	43.6	1.3	138.7
女性	918	29.5	25.6	19.5	12.2	4.0	3.4	0.5	40.6	3.1	138.5
[年齢]											
20～29歳	134	25.4	23.9	33.6	12.7	6.7	3.7	-	40.3	-	146.3
30～39歳	219	34.2	33.8	29.2	14.6	4.6	2.3	0.5	32.4	-	151.6
40～49歳	300	31.0	26.7	19.0	17.3	3.7	3.7	0.7	40.3	0.7	143.0
50～59歳	304	32.2	31.9	19.4	16.4	3.0	4.3	0.7	37.8	0.3	146.1
60～69歳	400	30.5	24.0	20.0	9.8	3.3	3.5	0.5	43.0	1.5	136.0
70歳以上	401	24.2	17.5	11.5	5.7	2.7	1.5	0.5	51.4	7.5	122.4
[従業上の地位]											
雇用者	857	31.9	28.7	22.8	15.8	4.3	3.5	0.5	38.0	0.5	145.9
自営業	166	29.5	22.9	18.1	9.6	1.2	2.4	1.8	44.6	2.4	132.5
家族従業者	49	32.7	18.4	12.2	22.4	-	4.1	-	40.8	6.1	136.7
無職	686	26.4	22.7	17.5	7.4	3.5	2.6	0.3	46.5	4.1	131.0
主婦	363	28.1	25.6	16.3	8.8	2.8	3.3	-	44.4	3.9	133.1
主夫	43	32.6	27.9	14.0	9.3	-	-	-	48.8	2.3	134.9
その他の無職	280	23.2	18.2	19.6	5.4	5.0	2.1	0.7	48.9	4.6	127.9
[職業]											
管理・専門技術・事務職	449	34.7	29.6	18.5	20.3	4.5	3.3	0.7	37.0	0.2	148.8
管理職	59	39.0	44.1	6.8	28.8	6.8	1.7	-	30.5	-	157.6
専門・技術職	181	38.1	30.9	24.9	17.1	3.9	3.3	0.6	34.3	-	153.0
事務職	209	30.6	24.4	16.3	20.6	4.3	3.8	1.0	41.1	0.5	142.6
販売・サービス・保安職	320	29.4	25.9	22.5	13.1	4.1	4.4	0.6	39.4	1.3	140.6
農林漁業職	51	33.3	23.5	19.6	9.8	2.0	2.0	-	47.1	5.9	143.1
生産・輸送・建設・労務職	252	28.2	25.8	26.2	9.5	2.0	2.4	0.8	41.3	1.2	137.3

#### 4 訪日外国人旅行者を増加させるために重要だと思う施策

##### (1) 訪日外国人旅行者を増加させるために重要だと思う施策

訪日外国人旅行者を増加させるために、我が国としてどのような施策を進めることが重要だと思うか聞いたところ、「空港や駅、観光地、宿泊施設での外国語などによる案内・応接の充実」を挙げた者の割合が 51.7%と最も高く、以下、「海外における日本の魅力のさらなるPR」(45.8%)、「外国人にも対応した宿泊施設の整備」(36.3%)、「空港と観光地間など、国内移動時の交通機関の整備・充実」(31.9%)、「外国人の宗教・食生活などの生活習慣への配慮」(31.3%)などの順となっている。(複数回答、上位5項目)

都市規模別に見ると、「空港や駅、観光地、宿泊施設での外国語などによる案内・応接の充実」、「外国人にも対応した宿泊施設の整備」、「空港と観光地間など、国内移動時の交通機関の整備・充実」、「外国人の宗教・食生活などの生活習慣への配慮」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「外国人にも対応した宿泊施設の整備」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。

年齢別に見ると、「空港や駅、観光地、宿泊施設での外国語などによる案内・応接の充実」を挙げた者は30歳代、40歳代で、「海外における日本の魅力のさらなるPR」を挙げた者は50歳代で、「外国人にも対応した宿泊施設の整備」を挙げた者の割合は20歳代、40歳代で、「外国人の宗教・食生活などの生活習慣への配慮」を挙げた者の割合は20歳代から50歳代で、それぞれ高くなっている。(図5、表5)

図5 訪日外国人旅行者を増加させるために重要だと思う施策

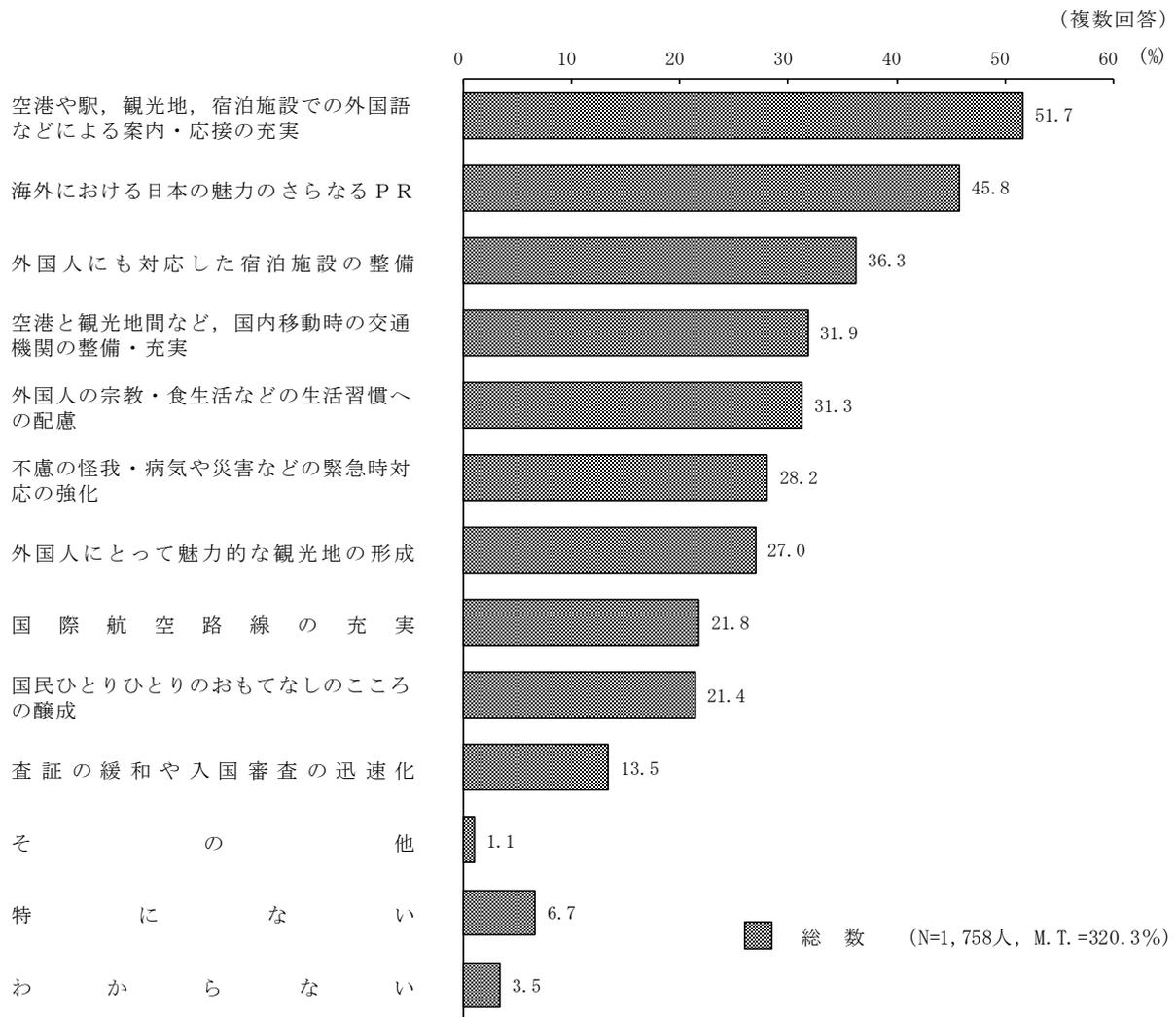


表5 訪日外国人旅行者を増加

	該 当 者 数	国 語 な ど に よ る 案 内 ・ 宿 泊 施 設 の 充 実	P R 海 外 に お け る 日 本 の 魅 力 の さ ら な る	外 国 人 に も 対 応 し た 宿 泊 施 設 の 整 備	交 通 機 関 の 整 備 ・ 充 実	慣 へ の 配 慮	外 国 人 の 宗 教 ・ 食 生 活 な ど の 生 活 習
	人	%	%	%	%	%	%
総 〔都 市 規 数 大 東 京 都 区 模 政 令 指 定 都 市 部 中 小 町 都 市 市 村 〔 性 性 男 女 性 性 〔年 齢 〕 20 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上 〔従 業 上 の 地 位 〕 雇 用 者 自 営 業 主 家 族 従 業 者 無 職 主 婦 主 夫 そ の 他 の 無 職 〔職 業 〕 管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職 管 理 職 専 門 ・ 技 術 職 事 務 職 販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職 農 林 漁 業 職 生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	1,758 435 90 345 719 430 174 840 918 134 219 300 304 400 401 857 166 49 686 363 43 280 449 59 181 209 320 51 252	51.7 60.5 62.2 60.0 51.2 46.5 44.8 51.4 52.0 58.2 59.8 59.7 55.6 49.5 38.4 58.3 47.0 55.1 44.3 42.4 27.9 49.3 63.7 57.6 68.5 61.2 55.9 47.1 46.0	45.8 47.8 45.6 48.4 47.0 44.9 38.5 45.6 46.1 44.0 49.3 46.0 51.6 44.0 41.9 48.7 39.8 51.0 43.4 43.0 46.5 43.6 51.0 54.2 49.2 51.7 47.2 35.3 43.7	36.3 41.8 35.6 43.5 34.8 34.0 34.5 41.1 31.9 52.2 40.2 44.7 40.8 31.8 23.7 41.2 34.3 32.7 30.9 28.1 23.3 35.7 44.1 45.8 42.5 45.0 36.3 35.3 37.3	31.9 39.1 41.1 38.6 29.8 29.3 28.7 32.7 31.0 30.6 35.2 35.3 31.3 34.8 25.4 34.7 31.3 32.7 28.4 28.4 27.9 28.6 36.3 35.6 37.6 35.4 35.6 19.6 31.0	31.3 36.6 36.7 36.5 30.7 29.3 25.9 33.0 29.8 40.3 40.6 37.7 39.1 28.3 15.7 39.1 28.3 22.4 23.0 21.2 23.3 25.4 44.1 52.5 47.0 39.2 33.4 17.6 31.3	

させるために重要だと思う施策

(複数回答)

時不慮の怪我・病 対応の強化 気や災害などの 緊急	外国人にとって 魅力的な観光地 の形	国際航空路線 の充実	国民ひとりひと りのおもてなしの 醸成	査証の緩和や入 国審査の迅速化	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%	%	%
28.2	27.0	21.8	21.4	13.5	1.1	6.7	3.5	320.3
36.6	28.3	27.6	21.8	17.9	1.1	5.1	2.3	366.4
34.4	27.8	30.0	18.9	18.9	-	3.3	2.2	356.7
37.1	28.4	27.0	22.6	17.7	1.4	5.5	2.3	369.0
26.0	28.5	20.2	21.1	11.5	0.8	8.2	2.8	312.7
25.3	23.5	18.6	21.6	13.0	1.4	6.3	2.6	296.3
23.0	26.4	22.4	21.3	11.5	1.1	5.7	11.5	295.4
26.8	28.6	23.7	22.6	15.2	1.0	6.8	2.0	330.5
29.4	25.6	20.2	20.4	11.9	1.2	6.6	4.8	310.9
40.3	31.3	29.1	25.4	14.9	-	2.2	-	368.7
32.9	26.5	17.4	21.5	11.4	0.5	2.7	-	337.9
32.3	31.7	24.3	16.7	12.0	0.3	2.7	1.3	344.7
31.3	31.3	26.6	19.1	13.5	1.0	3.6	1.3	346.1
25.3	24.8	19.5	23.0	14.5	1.5	6.5	2.5	305.8
19.0	21.4	18.7	23.9	14.2	2.0	16.0	10.7	271.1
34.0	29.9	23.9	20.9	13.7	0.1	3.5	0.9	348.8
18.7	27.7	24.7	18.7	12.7	1.2	8.4	3.0	295.8
26.5	28.6	22.4	26.5	12.2	2.0	6.1	4.1	322.4
23.3	23.2	18.5	22.4	13.6	2.2	10.3	6.7	290.4
25.3	22.6	15.7	17.4	11.8	1.9	10.7	8.0	276.6
11.6	30.2	23.3	32.6	9.3	2.3	14.0	7.0	279.1
22.5	22.9	21.4	27.5	16.4	2.5	9.3	5.0	310.0
37.0	29.6	26.3	19.6	13.4	-	3.1	0.2	368.4
45.8	27.1	32.2	15.3	30.5	-	3.4	-	400.0
35.9	34.3	25.4	19.9	12.2	-	2.8	0.6	375.7
35.4	26.3	25.4	20.6	9.6	-	3.3	-	353.1
28.4	31.6	20.9	22.8	14.7	0.9	5.9	1.6	335.3
19.6	21.6	15.7	23.5	7.8	-	3.9	11.8	258.8
27.0	28.2	25.4	19.8	13.1	0.4	4.8	1.2	309.1

[参考1] 訪日外国人旅行者を増加させるために特に重要だと思う施策

(複数回答)

	該 当 者 数	海 外 に お け る P R	外 国 語 等 に よ る 案 内 ・ 応 接 の 充 実	空 港 や 駅 、 観 光 地 、 宿 泊 施 設 で の	外 国 人 に も 対 応 し た 宿 泊 施 設 の 整 備	外 国 人 に と つ て 魅 力 的 な 観 光 地 の 形 成	空 港 と 観 光 地 間 等 、 国 内 移 動 時 の 交 通 機 関 の 整 備 ・ 充 実	国 際 航 空 路 線 の 充 実	国 民 ひ と り ひ と り の お も て な し の こ こ ろ の 醸 成	査 証 の 緩 和 や 入 国 審 査 の 迅 速 化	外 国 の カ ー ド を 利 用 で き る A T M の 普 及 や キ ャ ッ シ ュ レ ス 化 の 促 進	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成20年10月調査	1,853	51.3	47.0	33.9	32.0	28.4	21.9	19.5	16.5	16.4	1.5	7.4	4.9	280.6		

(注) 「訪日外国人旅行者を増加させるために、我が国としてどのような施策を進めることが特に重要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

[参考2] 外国人旅行者のために行うべき環境整備

(複数回答)

	該 当 者 数	外 国 語 の 案 内 標 識 な ど 外 国 人 に も わ か り や す い 観 光 案 内 の 整 備	国 民 一 人 一 人 の 親 切 な 応 対	空 港 の 整 備 や 航 空 路 線 の 充 実 な ど 国 際 交 通 の 充 実	査 証 の 免 除 や 迅 速 な 入 国 審 査 の 実 施 な ど 入 国 手 続 の 円 滑 化	ク レ ジ ッ シ ュ レ カ ー ド の 普 及 な ど の 推 進	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成16年5月調査	2,075	72.0	42.7	25.0	24.0	7.0	1.0	3.8	5.5	181.0

(注) 「あなたは、日本を訪れた外国人旅行者にとって、日本が便利で快適な観光ができる国となるために、政府が行うべき環境整備は何であると思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

## 5 国内旅行に行きたいと思うようになるための条件

### (1) 国内旅行に行きたいと思うようになるための条件

どのようなことがあれば国内旅行に行きたいと思うようになるか聞いたところ、「宿泊料が安いこと」を挙げた者の割合が55.3%と最も高く、以下、「連続して休めること」(45.7%)、「移動手段が安いこと」(44.1%)、「魅力的な宿泊施設(温泉などを含む)があること」(41.1%)、「家族と一緒に休みを取れること」(40.7%)、「魅力的な観光地(食事、お土産などを含む)があること」(38.7%)などの順となっている。(複数回答、上位6項目)

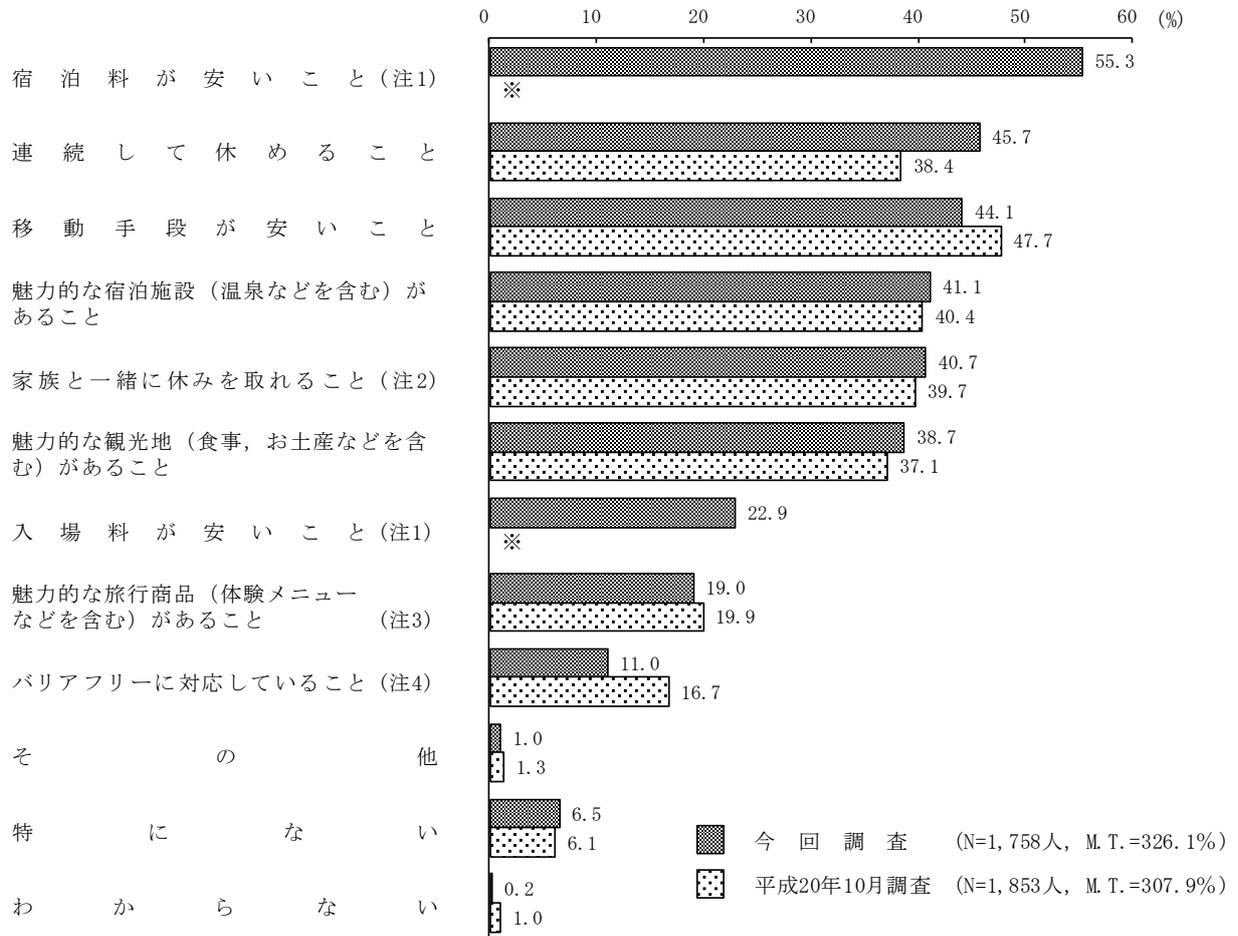
前回の調査結果と比較して見ると、「連続して休めること」(38.4%→45.7%)を挙げた者を割合が上昇し、「移動手段が安いこと」(47.7%→44.1%)を挙げた者を割合が低下している。

都市規模別に見ると、「連続して休めること」、「移動手段が安いこと」、「魅力的な宿泊施設(温泉などを含む)があること」、「家族と一緒に休みを取れること」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「移動手段が安いこと」、「家族と一緒に休みを取れること」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「宿泊料が安いこと」を挙げた者の割合は40歳代で、「連続して休めること」を挙げた者の割合は20歳代から50歳代で、「移動手段が安いこと」を挙げた者の割合は30歳代、40歳代で、「魅力的な宿泊施設(温泉などを含む)があること」を挙げた者の割合は30歳代で、「家族と一緒に休みを取れること」を挙げた者の割合は30歳代から50歳代で、「魅力的な観光地(食事、お土産などを含む)があること」を挙げた者の割合は20歳代、30歳代で、それぞれ高くなっている。(図6、表6)

図6 国内旅行に行きたいと思うようになるための条件



(注1) 平成20年10月調査では、「宿泊料や入場料などが安いこと」(59.6%)となっている。

(注2) 平成20年10月調査では、「家族と一緒に休みが取れること」となっている。

(注3) 平成20年10月調査では、「魅力的な旅行商品があること」となっている。

(注4) 平成20年10月調査では、「バリアフリーが整備されていること」となっている。

表6 国内旅行に行きたいと

	該 当 者 数	宿 泊 料 が 安 い こ と	連 続 し て 休 め る こ と	移 動 手 段 が 安 い こ と	魅 力 的 な 宿 泊 施 設 ( 温 泉 な ど を 含 む ) が あ る こ と	家 族 と 一 緒 に 休 み を 取 れ る こ と
	人	%	%	%	%	%
総 〔都大〕	1,758	55.3	45.7	44.1	41.1	40.7
市規 〔市都〕	435	58.2	53.3	49.0	45.7	45.1
東都 政京都	90	53.3	56.7	41.1	37.8	45.6
中令指 小都定 町都都	345	59.4	52.5	51.0	47.8	44.9
〔性〕	719	54.9	43.5	42.4	41.9	35.9
男	430	52.6	43.5	42.3	37.2	42.6
女	174	56.3	40.8	43.1	35.6	44.8
〔年 性 齡〕	840	55.2	46.0	41.4	39.3	38.1
20 ~ 29 歳	918	55.3	45.4	46.5	42.7	43.0
30 ~ 39 歳	134	53.7	80.6	47.0	41.0	47.8
40 ~ 49 歳	219	60.7	71.7	53.4	47.9	54.8
50 ~ 59 歳	300	61.7	65.3	52.0	38.7	55.7
60 ~ 69 歳	304	55.6	60.9	49.0	43.8	47.0
70 歳 以 上	400	56.3	27.8	40.0	43.8	31.0
〔従業上の地位〕	401	46.9	11.5	32.4	34.4	24.2
雇 用 者	857	60.2	66.0	50.4	43.5	47.6
自 営 業 主	166	39.2	48.2	29.5	36.7	36.1
家 族 従 業 者	49	42.9	38.8	40.8	53.1	49.0
無 職 婦	686	53.9	20.1	39.9	38.2	32.5
主 夫	363	54.8	21.8	42.4	41.9	36.9
そ の 他 の 無 職 業	43	62.8	7.0	46.5	34.9	18.6
〔職 業〕	280	51.4	20.0	35.7	33.9	28.9
管 理 ・ 専 門 技 術 ・ 事 務 職	449	60.4	67.7	53.2	46.8	46.3
管 理 職	59	49.2	59.3	44.1	50.8	37.3
専 門 ・ 技 術 職	181	61.9	65.2	52.5	49.2	52.5
事 務 職	209	62.2	72.2	56.5	43.5	43.5
販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職	320	54.1	60.9	43.1	41.9	48.4
農 林 漁 業 職	51	31.4	33.3	23.5	35.3	43.1
生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職	252	56.3	59.1	44.4	38.9	42.5

思うようになるための条件

(複数回答)

魅力的な観光地(食事、お土産などを 含む)があること	入場料が安いこと	魅力的な旅行商品(体験メニューなど を含む)があること	バリアフリーに対応していること	その他	特にない	わからない	計 (M. T.)
%	%	%	%	%	%	%	%
38.7	22.9	19.0	11.0	1.0	6.5	0.2	326.1
42.1	26.9	24.6	10.3	0.2	5.5	-	360.9
35.6	21.1	26.7	10.0	1.1	1.1	-	330.0
43.8	28.4	24.1	10.4	-	6.7	-	369.0
39.6	22.5	18.2	11.1	1.7	5.8	0.1	317.8
35.8	20.0	16.5	10.9	0.5	8.4	0.5	310.7
33.3	21.3	14.4	12.1	1.7	7.5	0.6	311.5
39.2	20.1	17.4	8.2	1.0	6.4	0.2	312.5
38.2	25.4	20.5	13.5	1.1	6.6	0.2	338.6
53.7	26.1	24.6	5.2	-	-	-	379.9
45.7	31.1	22.4	9.6	-	-	-	397.3
41.0	28.7	21.0	9.3	-	1.7	-	375.0
40.1	21.7	21.1	9.2	-	3.3	-	351.6
36.8	20.3	17.3	11.3	2.3	4.8	0.3	291.5
28.9	16.5	14.0	16.0	2.2	20.2	0.7	247.9
42.8	26.5	21.9	9.1	0.1	1.5	-	369.8
34.3	14.5	13.9	9.6	1.2	6.0	-	269.3
40.8	20.4	20.4	12.2	-	4.1	-	322.4
34.4	20.6	16.5	13.6	2.2	13.1	0.6	285.6
36.4	24.2	18.2	15.2	2.8	12.4	0.3	307.2
30.2	14.0	11.6	7.0	2.3	18.6	-	253.5
32.5	16.8	15.0	12.5	1.4	13.2	1.1	262.5
47.2	26.1	21.6	7.1	-	1.1	-	377.5
49.2	16.9	11.9	8.5	-	1.7	-	328.8
44.2	29.3	24.3	8.3	-	2.2	-	389.5
49.3	25.8	22.0	5.7	-	-	-	380.9
39.7	24.4	21.3	12.5	0.3	2.2	-	348.8
35.3	9.8	7.8	13.7	-	9.8	-	243.1
34.5	24.2	20.6	8.3	0.8	3.2	-	332.9

# 観光立国の実現に関する世論調査

平成27年8月

調査時期：平成27年8月20日から平成27年8月30日  
調査対象：全国20歳以上の日本国籍を有する者3,000人  
有効回収数（率）：1,758人（58.6%）

話は変わりますが、次に時事問題として、「観光立国の実現」についてお伺いします。

## 1. 観光庁の認知度

Q1 【回答票1】平成20年10月に発足した「観光庁」をご存じですか。この中から1つだけお答えください。

- (16.2) (ア) 名前も内容も知っている
- (40.0) (イ) 名前は聞いたことはあるが、内容までは知らない
- (43.9) (ウ) 名前も内容も知らない

---

## 2. 訪日外国人旅行者数に対する実感

Q2 【回答票2】日本を訪れる外国人旅行者数について数年前と比べてどのような実感をもっていますか。この中から1つだけお答えください。

- (72.4) (ア) 増えた
- (21.0) (イ) どちらかといえば増えた
- ( 1.5) (ウ) どちらかといえば減った
- ( 0.3) (エ) 減った
- ( 4.8) (オ) わからない

---

## 3. 訪日外国人旅行者が増加することについて

Q3 【回答票3】訪日外国人旅行者が増加することにより我が国にどのような影響を与えていると思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (46.3) (ア) 国際交流が進み、相互理解が深まる
- (14.4) (イ) 国民ひとりひとりのおもてなしのところが向上する
- (50.0) (ウ) 街がにぎやかになり、地域経済の活性化につながる
- (15.3) (エ) 案内標識の整備などにより暮らしやすいまちづくりが進む
- (12.8) (オ) 自分も海外旅行に行ってみようと思う意識が高まる
- (65.4) (カ) 観光による消費が拡大し、日本経済の活性化につながる
- ( 1.4) (ク) その他 ( )
- ( 4.7) (コ) 特にない
- ( 2.6) (ク) わからない

(M. T. =213.0)



5. 国内旅行に行きたいと思うようになるための条件

Q 6 【回答票6】 どのようなことがあれば、あなたは国内旅行に行きたいと思うようになりますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (45.7) (ア) 連続して休めること
- (40.7) (イ) 家族と一緒に休みを取れること
- (44.1) (ウ) 移動手段が安いこと
- (55.3) (エ) 宿泊料が安いこと
- (22.9) (オ) 入場料が安いこと
- (19.0) (カ) 魅力的な旅行商品(体験メニューなどを含む)があること
- (38.7) (キ) 魅力的な観光地(食事, お土産などを含む)があること
- (41.1) (ク) 魅力的な宿泊施設(温泉などを含む)があること
- (11.0) (ケ) バリアフリーに対応していること
- ( 1.0) その他 ( )
- ( 6.5) 特にない
- ( 0.2) わからない

(M. T. =326. 1)